
メ〜テレ 横井正彦社長 定例記者会見

アウトドア情報に特化したバーティカルサイトと連動

新バラエティ「おぎやはぎのハピキャン」4月24日(水)スタート

メ〜テレ（名古屋テレビ放送）は、3月22日(金)に定例社長会見を開きました。

横井正彦社長は、アウトドア情報に特化したバーティカルサイトを開設し、テレビとネットが連動する新しいスタイルのバラエティ番組「おぎやはぎのハピキャン」を、4月24日(水)からレギュラー放送することなどを発表しました。



メ〜テレ代表取締役社長 横井正彦

会見の要旨は、以下の通りです。

平素から皆さま方には格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。2014年6月に社長に就任し、定例会見としては今回が5度目になります。どうぞよろしくお願いいたします。

メ〜テレは2018年度、非常に多くの賞をいただくことができました。

民放連盟賞では、ドキュメンタリー「葬られた危機」がテレビ部門の準グランプリ、年末の文化庁芸術祭ではドキュメンタリーとドラマの二部門で、優秀賞をダブル受賞いたしました。

また、放送だけでなく、自社が製作委員会の幹事社として制作した映画でも、20近い賞をいただくことができました。

今後も引き続き、多くの皆様に評価いただけるコンテンツを世に送り出すことができるよう、全社を挙げて取り組んでまいります。

それでは、始めに視聴率からご報告させていただきます。

2018年度の視聴率は、正式には3月31日をもって確定しますが、現時点で、「全日」帯が2位、「ゴールデン」「プライム」帯が3位、「プライム2」が2位で推移しています。

HUTが低下する中、全日帯は17年度から0.3ポイント下げっていますが、順位は3位から2位に上昇。ゴールデン帯は0.2ポイント上げています。

ゴールデンの好調は、10月改編でレギュラー番組となった「ナニコレ珍百景」や「ポツンと一軒家」が大きく貢献しました。とくに「ポツンと一軒家」は、20%を超える高視聴率を獲得しております。

また、自社制作番組では、月曜から金曜のあさの「ドデスカ！」第1部が、歴代最高を記録した17年度に引き続き好調をキープ。夕方の「UP！」第2部は0.4ポイントの上昇、土曜朝のデルサタも0.6ポイントアップと好調です。

メ〜テレの長寿番組である土曜夕方「ウドちゃんの旅してゴメン」は、まもなく放送開始から16年になりますが、今年1月、番組スタート以来最高の16.9%を記録するなど、長く愛される番組に成長しました。

17年10月にスタートした日曜あさのメ〜テレ、テレビ朝日、朝日放送テレビによる共同制作ネット番組「サンデーLIVE!!」も、各地区で大きく数字を伸ばしており、定着した感があります。

続いて、今期の決算の見込みについて、ご説明します。

当期は、主力のスポットの伸び悩みの影響が大きく、3期ぶりに減収減益の見込みです。

非常に厳しい環境ではありますが、全社一丸となって損益の改善に取り組んでおります。しかし、その一方で、新規事業など未来への投資については、引き続き積極的に行ってまいります。

業績の詳細につきましては、今期の決算が確定した後、6月に経済記者クラブで説明させていただきます予定です。

メ〜テレでは、16年度から5年間にわたる第4次中期経営計画を見直し、18年度からの後期3年間を「中計4.4」として再構築しました。

それから1年。この短い間にも、放送と通信をめぐる環境はさらにスピードを上げて変化しています。

今後、5Gが実用化され、大容量通信が可能になることによって、エンターテインメントやコンテンツのあり方、楽しみ方が大きく変わっていくでしょう。

そんな中で、地域メディアとしての我々も、地上波にとどまらず様々な形でコンテンツを発信し、多くの方に楽しんでいただけるよう、グループ会社をはじめ、外部のみなさまとの連携も強めながら、柔軟に、スピーディに対応していきたいと考えています。

そうした中で、重要な役割を果たすのが、次世代放送への取り組みです。メ〜テレでは「次世代放送の先進局」を目指し、他局に先駆けて研究に取り組んでおります。

メ〜テレは17年3月、全国の放送局に先駆けて8Kカメラを購入し、18年度は5本の8Kコンテンツを制作しました。そのうちの2作品は広島ホームテレビ、長崎文化放送との共同制作です。19年度も系列局との連携を含め、様々な取り組みを継続して参ります。

また、メ〜テレは総務省の「ブロードバンドを活用した地域放送サービスの展開方策に係る実証事業」を2年連続で提案し、採択されました。

新たな技術や規格を研究し、放送サービスと融合させていくことで、テレビの可能性を広げ、社会や文化の発展に貢献していきたいと考えております。

ここから、メ〜テレの春からの新しい取り組みについて何点か申し上げます。

まず、番組編成についてですが、朝夕の生放送のワイド番組を、4月を待たず、3月25日からリニューアルいたします。

朝の「ドデスカ!」は、新しいテーマソングを、地元出身の人気シンガーソングライター ナオト・インティライミさんに書き下ろしていただきました。また夕方の「UP!」は、タイトルをカタカナの「アップ!」に変更し、視聴者に、より柔らかく分かりやすいイメージをアピールします。このリニューアルに伴い、開始時間を午後3時46分に早め、この地方の夕方のニュース情報番組では最も早いスタートとなります。

情報番組と共に、メ〜テレが力を入れているドラマの分野では、4月クールに2本のドラマを制作します。

4月からは、男子高校生2人の純粋なラブストーリーを描く「his〜恋するつもりなんてなかった〜」、そして5月からは、名古屋発祥のユニークな本屋「ヴィレッジヴァンガード」を舞台にした「ヴィレヴァン!」を放送します。

そして、メ〜テレのこの春の新たな取り組みとして4月24日(水)にスタートするのが、毎週水曜深夜放送の新番組「おぎやはぎのハピキャン」です。番組だけでなく、アウトドア情報に特化したWEBサイトを開設し、テレビとネットが連動する新しいスタイルのバラエティ番組です。

テレビの強みを生かして、ネットの広大な世界に乗り出していく大きなチャレンジです。

イベントの分野では、18年9月に開催した音楽フェス、「メ〜テレMUSIC WAVE」をさらにパワーアップして、5月に蒲郡市のラグーナビーチで開催します。

かねてメ〜テレが取り組んでいる他業種とのコラボ・連携については、17年に始まった中京大学とのインターンシップ研修で、第2期生のコンテンツが完成し、本日YouTubeのメ〜テレチャンネルで公開が始まりました。

新規事業の分野では、コーポレートベンチャーキャピタル「名古屋テレビ・ベンチャーズ」を通じて投資を行ってまいりましたが、このたび10社目の出資が決まりました。

また、放送をとりまく環境が大きく変化する中、メ〜テレは株式会社コミュニティネットワークセンター・CNCIと、新たなビジネス領域の創造や拡大を目指し互いに協力することで合意いたしました。

今後とも引き続き、メ〜テレへのご指導をよろしくお願いいたします。